

肺炎球菌ワクチン接種助成を

新政会
河野 照代



杣田理事 **A** かなりの予算措置が必要



▲町の高齢者は昨年末現在8,045人
(シニアクラブ連合会運動会)

問 肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌という細菌感染を予防するワクチンであり、接種することで重症化防止の効果があるといわれている。
肺炎の死亡率は近年再び上昇している。高齢者や障がい者を対象に肺炎球菌ワクチン接種の助成で、健康増進と安全・安心な生活の確保につながるのでは。

答 非常に重要なことと認識しているが、65歳以上の高齢者対象の試算では約1400万円とかなりの予算措置が必要となる。時間をかけて検討していきたい。

問 今後の、多数の団体の応募があれば公開の場で行うことも共通理解がされ、意義あることである。現行は、委員会にて審査、検証をしている。
答 総合計画にも記載されている「協働の新しい仕組み作りを検討する」とあるが具体的な取り組みとは。
答 一方的な事業実施ではなく、住民の方に委員会に入ってもらいたい。パブリックコメントをとり、議会の意見を政策に反映していくなど。

避難所の井戸整備などは

新政会
神吉 史久



三村理事 **A** 既存設備での対応を検討



▲災害時の生活用水専用蛇口が設置される播小プール

問 災害に備えた生活用水の確保について、昨年12月定例会で質問した。1年が経過し、検討内容などを問う。
答 避難所ではどのような対応をとっているのか。
答 今年度改修予定の播小プールに、災害時の生活用水専用の蛇口を設置する。また、各学校には水が不要な簡易トイレの備蓄を考えている。

問 地域防災計画には、避難所に井戸などの整備に努めるとある。計画は。新たな整備について。
答 ホームページでの募集となっているケースもあるが、広報紙での募集掲載にも努めている。
問 25年度に募集した公募委員(2回)とパブリックコメント(1回)は、広報紙を活用したのか。
答 広報紙での募集はしていない。計画的に行うことで可能になることもあるので検討したい。

問 働く世代の意見も聞けるよう、公募委員を含む委員会の開催を原則週末や夜間とする考えは。
答 働く世代の意見を聞くべき委員会などではそのような配慮も必要だと思ふ。

新幹線高架下の活用を

新政会
福原 隆泰



三村理事 **A** 町が関与できる余地はない



▲貴重な空間の有効活用を

問 新幹線高架下は貴重な空間。町内での延長は2.7キロメートルにも及ぶ。公益性の観点から安全・安心に寄与する公園、防災資機材倉庫、ドッグラン等、町も関与し有効活用を。
答 建設当時の協議で確保した7つの公園は、無償で3年ごとに契約を更新している。ゆうあい園は利用者のために賃貸借契約を締結。民間によって管理され、町が関与する余地はない。

問 山電播磨駅舎のPRRを。山電播磨駅舎のPRRを。山電播磨駅舎のPRRを。
答 公安委員会へ要望すれば可能だが、町として必要ないと考える。

学校プールの開放を

日本共産党
松岡 光子



教育長 **A** 開放に向け検討開始



▲全面改修を待つ播小プール

問 検討委員会の結果、町民プールは廃止し、新たに水辺や水とのふれあいをテーマにした多様な世代がレクリエーションやスポーツを楽しめる施設の建設を検討するとしている。
答 学校教育法に学校教育上支障のない限り学校施設を使用させることができる。既に担当グループで、開放期間や

問 ごみ処理は町単独で処理するのが基本だが、加古郡リサイクルプラザのように稲美町と一緒に運営する議論はしたのか。
答 平成19年から広域行政協議会で検討をしていたので、2町での協議はしていない。
問 建設予定地周辺整備費用まで播磨町が負担することになるのでは。
答 迷惑施設に該当するので応分の負担は当然。
問 ごみ処理の広域化についての疑問(有料化、予算、中継基地、資源ごみの取り扱いなど)を住民に説明をすべきでは。
答 2市2町で協議中であり、費用では負担割合が各市町の考え方の違いから確定せず、説明できる段階でない。

問 ごみ処理施設の説明を。説明できる段階ではない。
答 説明できる段階ではない。